

会 議 記 録 (1)

会議名称	令和元年度第2回北本市総合教育会議
開会及び閉会日時	令和元年9月26日(木) 午後4時30分から午後5時45分まで
開催場所	北本市役所会議室3-F
議長氏名	北本市長 三宮幸雄
出席委員(者)氏名	北本市長：三宮幸雄 教育長：清水隆 教育委員(教育長職務代理者)：大保木道子 教育委員：金井裕 教育委員：安田美詠子 教育委員：鈴木義信 教育委員：久保田篤正
欠席委員(者)氏名	
説明者の職氏名	教育部長：原口穰 教育総務課長：櫻井猛博 学校教育課長：坂口修
事務局職員職氏名	企画財政部長：田中正昭 企画財政部企画課長：長嶋太一(司会) 教育部長：原口穰 教育部参与兼文化財保護課長：磯野治司 教育総務課長：櫻井猛博 学校教育課長：坂口修 学校教育課副課長：内田浩子 生涯学習課課長：平井巖 企画財政部企画課企画統計担当主査：高橋良輔 同主任：五十嵐亮太
会議次第	1 開会 2 議題 (1) いじめ問題の対応方法について (2) 学校教育の充実について (3) その他 3 その他 4 閉会

会 議 記 録 (2)

発 言 者	発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
企画課長	<p>1 開会</p> <p>定刻となりましたので、ただいまから、「令和元年度第2回北本市総合教育会議」を開会いたします。本日、司会進行を務めさせていただきます企画財政部企画課長の長嶋でございます。よろしくお願いいたします。</p>
企画課長	<p>2 議題</p> <p>それでは、早速、本日の協議に移りたいと存じます。議題の進行につきましては、「北本市総合教育会議運営要綱」の第4条第1項の規定に基づき、市長が議長を務めることとなっております。進行につきまして、市長、よろしくお願いいたします。</p>
議長	<p>それでは、議長を務めます。ご協力のほどよろしくお願いいたします。</p>
議長	<p>(1) いじめ問題の対応方法について</p> <p>議題(1)につきましては、「北本市いじめ防止対策推進条例」を上程したことに伴い、いじめの問題が発生した場合の手続きについて、その実効性を高めるための協議を行いたいと考えていたところですが、この間に、市長部局と教育委員会とにおいて今後の対応方法が確立されたため、議題を取り下げたいと考えますが、いかがですか。</p>
各委員	<p>－異議なし－</p>
議長	<p>今後、いじめの問題が発生した場合については、この条例や基本的な方針に則り対応していくこととなりますが、想定し得ないことも起こりえますので、臨機応変に対応していくようお願いいたします。</p>
議長	<p>(2) 学校教育の充実について</p> <p>議題(2)の「学校教育の充実」につきましては、前回の総合教育会議において、「教育委員会の事務に関する点検評価報告書」に基づき報告のありました平成30年度の実施内容や評価結果をもとに、今後、重点的に講ずべき教育施策等について協議していきたいと考えておりますので、よろしくお願いいたします。</p> <p>まずは、事務局からその考え方の説明をお願いします。</p>

<p>学校教育課 長</p>	<p>効果的に学校教育や学校運営を進めていくため、学校4・3・2制に係る非常勤講師、学力向上支援員、特別支援教育支援員、スクールサポートスタッフ、スクールカウンセラー、さわやか相談員、スクールソーシャルワーカー、図書館指導員等を適正数確保したいと考えています。</p> <p>学校4・3・2制に係る非常勤講師につきましては、小学校と中学校にそれぞれ配置しています。この配置により、中学校の教員が小学校に行き指導を行うことが可能となり、小学生が中学校に進学した際に、スムーズに中学生生活に順応できる環境をつくるとともに、中学校の教員が予め児童の性格等を把握することにより、中学校進学後の指導につなげていけるメリットがあります。小学校の教員が中学校に行き指導することについては、その目的・効果等について課題がありますが、小学校の教科担任制を推進できる部分について効果があると考えています。</p> <p>小学校に配置する学力向上支援員につきましては、今後、中学校へも配置できるよう検討しています。</p> <p>図書館指導員につきましては、週に2.5日配置していますが、学校図書館の利用を推進し、児童生徒たちが本に親しむ環境をつくるためには、週に5日配置できるよう検討する必要があります。</p>
<p>議長</p>	<p>以前に小学校を視察した際に、図書館が閉められていたことがありました。その場で事情を確認したところ、図書館指導員が週に2.5日しか配置されていないことがわかりました。子どもたちに本に親しんでもらうためには、図書館指導員を週に5日配置し、常時図書館を開館することにより、いつでも本に触れることのできる環境を整備する必要があります。</p> <p>鈴木委員は、この取組についてどのように考えますか。</p>
<p>鈴木委員</p>	<p>限られた予算のなかで、図書館指導員を増員することにより、児童生徒が図書館をいつでも利用できる環境を整えることができるのであれば、ぜひ取り組んでいただきたいと思います。</p>
<p>議長</p>	<p>学力向上支援員の中学校への配置や、その他の支援策の必要性について、事務局から説明をお願いします。</p>
<p>教育部長</p>	<p>教育上の問題による不登校については、学力向上支援員を配置し、授業中の児童生徒へのきめ細かな支援を行うことにより、対応が可能だと考えています。</p> <p>落ち着いて授業を聞くことや、教員の指導のスピードや黒板の板書についていくことが困難な事例等については、学力向上支援員の児童生徒への学習支援が効果的であり、これにより安定した</p>

	<p>教育環境を提供できると考えます。</p> <p>続いて、特別支援教育支援員については、現在、市内全校に特別支援学級と、北小学校、栄小学校、北本中学校に通級指導教室を設置し、支援を行っています。27人の支援体制となりますが、その人員数でサポート体制としては十分であるか検討が必要と考えています。</p> <p>また、スクールソーシャルワーカーを配置し、家庭と児童相談所、福祉施設、医療機関等とをつなぐ福祉面の支援を行っています。</p>
議長	<p>教育現場の課題については、現場で指導してみないとわからないことが多くありますが、義務教育のなかで各種支援員を配置して、きめ細かな支援を実施していく必要があります。</p>
教育長	<p>最近では、小学1年生から不登校になる児童がいます。ゲーム依存により昼夜が逆転してしまい、不規則な生活を送ることにより、毎朝決められた時間に登校できない状況にあるそうです。こうしたことに伴い、今後不登校児が増加する懸念があります。教員だけでなく、専門的な知識を有する専門職の支援により、包括的な対応を図っていかなくてはなりません。</p>
議長	<p>宮代町の事例では、民間の学習塾に学校でのチラシ配布等を認めるかわりに、夏休み期間中に無料で学習指導をしてもらい、児童生徒の学力を向上させる取組を実施しています。こうした取組により、児童生徒に、更なる学力向上の機会を提供しています。実施の是非はありますが、民間のノウハウを活用した良い事例ではないでしょうか。教育のあり方として、こうした視点で考えていくことも必要なのではないのでしょうか。</p>
教育部長	<p>今後の教育には、ICT環境を充実させる必要があります。</p>
議長	<p>導入費用の積算額について説明してください。</p>
教育総務課長	<p>例えば、各小中学校にタブレット端末を40台と電子黒板を導入し、それに伴うサーバー、無線LANを整備した場合、総額で約4億円の費用を見込んでいます。</p>
議長	<p>例えば、体育センターのエアコンの修理や施設の修繕を行った場合、費用が4億円と試算されています。それから、ヒートペアーズ北本スタジアムの電光掲示板を修繕した場合には、1億2千万の費用、野外活動センターのエアコンを修繕した場合、4千万の費用が試算されています。</p>

	<p>I C T環境の整備に係る費用も同様に高価ではありますが、順次、予算化できるよう検討していきたいと考えています。</p>
議長	<p>北本駅西口に、営利目的で使用できる市の施設の多目的ホールがあります。今後、公民館についても、柔軟に活用できる仕組みを整備するため、こうした利用形態を検討していきたいと考えていますが、委員の皆さんはどのように考えますか。</p>
教育長	<p>市長部局が公民館を管理することに問題はありません。しかし、利用形態については、社会教育法に基づき社会教育施設として管理しなければなりませんので、営利目的では使用できません。</p>
議長	<p>公民館のあり方について新たな発想で管理することを模索できないかと考えています。里山の原風景の残る高尾宮岡ふるさと緑の景観地、北本自然観察公園、野外活動センターの役割と公民館の役割を整理し、自然環境を北本市の特色として打ち出し一体的に利活用する等、付加価値をつけて、ストーリー性を持たせた施設の活用を考えていきたいと考えています。</p> <p>このことについて、事務局はどう考えますか。</p>
磯野参与兼文化財保護課長	<p>社会教育の場として機能する公民館は、地域の生活課題を解決するために、市民が学習する、活動する、集う場所として存在するものと考えています。こうした機能を守りつつ、今後の柔軟な施設の活用については、議論が必要だと考えます。</p>
議長	<p>現在、企画財政部を中心に、連日こうしたことについて庁内で議論をしています。教育行政についても、今までどおりの発想で取組を継続するのではなく、新たな視点から取組を考案し、実行していきたいと考えています。</p> <p>委員の皆さんから、北本市の取組に対して意見をお願いします。</p>
大保木委員	<p>市内の小学校と中学校の授業では、担任の先生と学力向上支援員さんの二人で教室内の状況を観察し、そのなかで内容の理解が進まない子等へ適切に支援が行われています。こうした取組により、北本の学校教育が良い方向に進んでいると思いますので、わたしは、学力向上支援員の配置を素晴らしい取組であると評価しています。</p> <p>それから、市長が提案する高尾宮岡ふるさと緑の景観地、北本自然観察公園、野外活動センター等の豊かな自然環境の活用については、わたしも頻繁にそこを散歩し愛着を持っていますが、夢</p>

<p>金井委員</p>	<p>のある話で感動いたしました。政策コンペ形式により、現状の施設を活用した今後のまちづくり、をテーマにして職員から提案を求めれば、さらに良い案が出てくるのではないのでしょうか。</p> <p>以上です。</p> <p>今後のまちづくりに関する取組と教育行政について、市長部局と教育部局の両方の視点からの話を聞いて、本日は大変勉強になりました。</p> <p>学校教育に必要な取組への予算化については、前向きに検討をお願いします。</p> <p>社会教育施設については、そのあり方を含めて改革が必要だということですが、公民館は学校と並ぶ大事な場所と考えています。避難場所としての活用を含め、今後にかけては最良のあり方を模索していかなくてはならないと思います。</p>
<p>安田委員</p>	<p>教育の最大の課題は不登校とのことであり、そこから非行に走る等の新たな課題も生じることがあるのかと思います。</p> <p>最近では、普通学級にしながら、授業中に先生が板書をするスピードについていけない子どもがいます。こうしたことを考えますと、先ほどの図書館指導員の拡充が優先されるべきことなのでしょう。図書館指導員の配置等を拡充することによって、他の取組が廃止されてしまう可能性を懸念しています。</p>
<p>議長</p>	<p>例えば、事業費600万円程かけて市費採用教諭1名を配置していますが、この費用を図書館指導員に充てる方が、子どもたちの読書に係る教育を推進できるのではないかと考えています。これからは、事業を複合的に取り組むことによって、誰もが共感できるストーリーのあるまちづくりが必要であると考えています。</p>
<p>安田委員</p>	<p>学校の図書館の開設日を週2.5日から週5日にすることにより、利用者数は増加するのでしょうか。本の好き嫌いの問題がありますから、開設日を増やすことが、図書館を利用する児童生徒の絶対数の増加につながるのか疑問に思います。</p>
<p>議長</p>	<p>その状況も考えられますので、実施してみても児童生徒の利用者数が増加しなければ、取組内容を再検討すればよいと考えています。大切なことは、トライしてみることです。</p>
<p>安田委員</p>	<p>大人からしますと、子どもたちに本を読んでほしいという希望はありますが、子どもの視点から本を好きになる取組を考えた場合、図書館の常時開館は、効果がある取組とはいえないと思います。このために、市費採用教諭を廃止することには、賛同しかね</p>

議長	<p>ます。</p> <p>市費採用教諭の配置方法や従事する業務について、詳しく説明してください。</p>
教育部長	<p>すべての小学校で30人程度の「少人数学級」を編制するためには、今年度につきましては、市費採用教諭が6、7人必要となりますので、予算の都合上、他の支援員をカットしなくてはなりません。</p>
安田委員	<p>図書館が閉まっていると、児童生徒は本を借りることができないのでしょうか。</p>
教育部長	<p>本を借りる場合は、図書館指導員がいるとき、または昼休みに児童生徒の図書委員がいるときに限られています。</p> <p>例えば、中学校の場合は、生徒指導上の問題から図書館に限らず使用しない部屋は閉鎖しています。生徒が授業を抜け出し隠れてしまうこと等を防ぐためです。</p>
教育長	<p>現在は、図書の貸出・返却時には、ペーパーで管理していますが、バーコード等で管理する仕組みが整えば、児童生徒だけでも貸出・返却等、図書館の運営が可能となります。</p> <p>人を増やす発想に固執するのではなく、どの方法を採用すれば多くの課題を解決できるのかを考えながら議論していかないと、よい結論を出すことはできません。</p>
議長	<p>久保田委員、何かありますか。</p>
久保田委員	<p>わたしは、野外活動センターや北本水辺プラザ公園、高尾宮岡ふるさと緑の景観地、北本自然観察公園等、点として存在する施設をつなぎ面として展開することにより、定住や交流する人口の増加策を考えていくことが必要と考えています。</p> <p>北本市には荒川付近からまちが発展してきた経緯があります。しかし、これからは荒川沿いに空き家が増加する問題が生じる可能性があります。こうしたなか、北本駅周辺に居住し、事業を営んでいたわたしの知人が、高尾地区の古民家に移り住み、そこで事業を営むとともに、休日には米や野菜をつくる等し、地域に根ざした活動を行っています。</p> <p>例えば、大企業を誘致するのではなく、中小企業を誘致し、地元根付いた活動を盛り上げ、そのことや北本市の文化を発信していくことが大事であると考えています。このために教育施設や学習施設の活用方法を検討していくことが必要なのではないかと</p>

<p>議長</p>	<p>思いました。</p> <p>また、ICT環境の整備については初期費用で4億円必要とのことでしたが、年度ごとに更新していくとランニングコストも発生すると思いますので、購入またはリースのどちらか負担の少ない選択をする必要があると考えます。</p> <p>久保田委員の意見にもありましたとおり、いまある施設や自然環境等の特色を生かし、市民が北本市に愛着をもてるまちづくりを進めていきたいと考えています。</p> <p>教育関係についても同様であり、子どもたちが北本市に愛着をもてる取組を進めていきたいと考えていますので、教育長を中心に本市の特色を存分に生かした取組を検討していただきたいと思ひます。</p>
<p>教育長</p>	<p>わたしから二点ほど申し述べたいと思ひます。</p> <p>一点目は、まちづくりの視点から社会教育施設の活用策を検討することは素晴らしい考えであるということです。様々な視点から施設を有効活用することについては、今後もよく議論して、最良の結論を得られるよう努めていきたいと考えています。</p> <p>二点目は、学力についてです。大切なことは、児童生徒の平均点数ではなく、個人の学力をどのように伸ばしていくのか、ということです。そのために、本市では事務局が分析して資料を作成し、関係各位に提供をしてまいりました。</p> <p>なお、埼玉県の学習状況調査では、5年間かけて一人ひとりの伸び率を算出し、経年で結果を分析しています。この精緻な取組により、全国やOECDからも注目を集めています。</p> <p>いずれにせよ、表面的な数値のみを捉えてよし悪しを議論したところで、それは意味のないことだと思ひます。平均点数の結果から本市児童生徒の学力が全国でどこに位置しているのかを知る必要はありますが、本市教育委員会が分析した内容を踏まえて、児童生徒の学力向上に資する取組を検討していくことが重要であると考えます。</p>
<p>議長</p>	<p>教育について、より良い取組を行っていくために、今後もこの会議において議論していきたいと思ひます。</p> <p>最後に、本市のまちづくりについて、お話しします。</p> <p>北本市は大宮台地の高台に位置し、貝塚等も発見されていることから、縄文時代から居住地として適した場所でした。ここ最近転出超過が続いていますが、長い歴史から考えますと、本市は圧倒的に人が住みやすい場所であることが証明されています。</p> <p>また、豊富な自然が残された北本自然観察公園は、昆虫の宝庫です。なかでも、トンボの数は50数種類おり、日本で一番生息数</p>

	<p>が多い可能性があります。森林にとどまらず、豊富な水資源があることにより、多くの昆虫が生息する環境が育ってきた経緯があります。</p> <p>こうしたことから、わたしは、本市の最大の良さは、歴史と、北本自然観察公園や高尾宮岡ふるさと緑の景観地にある自然環境であると考えています。その環境を生かして、森林セラピー事業の実施や、近隣にある飲食店と連携した取組を進め、地域全体を盛り上げていきたいと考えています。</p> <p>歴代の方々が築き上げてきた自然環境等をさらに磨き上げていき、次世代に引き継ぐことがわたしの役目だと考えていますので、今後ともよろしくお願いします。</p> <p>(3) その他</p>
議長	その他、何かありますか。
各委員	－特になし－
議長	以上をもちまして、本日の議事はすべて終了しました。
	ここで、議長の任を解かせていただきます。円滑な議事進行にご協力賜り、ありがとうございました。
企画課長	<p>3 その他</p> <p>それでは、次第の3「その他」でございますが、議事内容以外何かご意見等ございますか。</p>
各委員	－特に意見なし－
企画課長	<p>4 閉会</p> <p>以上をもちまして、本日の会議はすべて終了いたしましたので、令和元年度第2回北本市総合教育会議を閉会といたします。慎重なご審議賜りありがとうございました。</p>

議事のでん末・概要を記載し、その相違なきを証するためここに署名する。

令和元年10月25日

議長(北本市長)

三宮幸雄